PN J613-M7443-00 Rev.B

取扱説明書

corega

CG-SWO5GTP

5 Port 1000M/100M/10M Gigabit Ethernet Swich

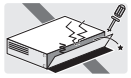
この度は、**corega CG-SWO5GTP**をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。


分解禁止

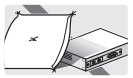
雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。


ふさがない

湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な湿度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所

取り扱いはていねいに
・落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類禁止

この製品について

本製品は、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T の自動認識及びMDI/MDI-Xの自動設定ポートを5ポート装備した、ギガビットイーサネット・スイッチです。

接続先ポートの種別や、ケーブルタイプ、通信速度等を問わず、簡単にネットワークを作ることができます。

各ポート間の通信はブリッジ機能で行うため、１０００Ｍｂｐｓ、100Mbps、10Mbpsだけで構成されたネットワークだけでなく、通信速度が混在したネットワークの場合もご使用いただけます。

・オートネゴシエーション機能をサポート
・フローコントロールをサポート
　Half duplex 時　：　バックプレッシャー機能
　Full duplex 時　：　IEEE802.3x

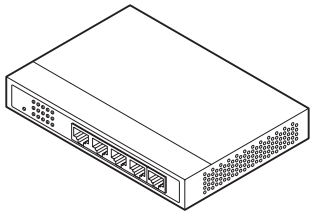
メモ **Full duplex時のフローコントロールは、接続先の機器もフローコントロール(IEEE802.3x)をサポートしている場合に機能します。**

・1000Mbps/100Mbps/10Mbps、Full duplex/Half duplex 自動認識、自動切り替え
・MDI/MDI-X　自動設定
・ネットワークや機器の状態が一目で分かるLEDの装備

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることをご確認ください。万が一欠品、不良品などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

・corega CG-SWO5GTP　本体



・AC アダプター(AC100V 用)
・ゴム足(粘着タイプ) ４個
・取扱説明書(本書)
・製品保証書

メモ **本製品を故障などで移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することをお勧めします。再梱包のために、本製品が納められていた梱包の箱、緩衝材などは、捨てずに保管しておいてください。**

製品仕様

サポート規格	
	IEEE802.3 / IEEE802.3u / IEEE802.3ab / IEEE802.3x
電源部(本体)	
定格入力電圧	DC5V
消費電力	11W (最大)
ACアダプター	
定格入力電圧	AC100-120V (50/60Hz)
定格出力電圧	DC5V
定格出力電流	3A
環境条件	
動作時温度/湿度	0～40℃ / 80%以下(ただし結露なきこと)
保管時温度/湿度	−20～60℃ / 95%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法(本体)	
	158(W)×102(D)×26(H)mm
重量	
	482g
アドレスエントリー数	
	8000個

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼書」をプリントアウトの上必要事項を記入されたものと、製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（付属品一式を含む）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※製品のお持込による修理は受け付けておりません。

●修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
●保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
●製品購入日の証明ができない場合は、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
●修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
●修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

製品に関するご質問

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または、下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンターまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

※製品のお持込によるサポートは受け付けておりません。

■お問い合わせ先

Mail サポート　：下記の URL からユーザー登録した後、お問い合わせください。
http://www.corega.co.jp/faq

FAX/TEL　：FAX 045-476-6294　TEL 045-476-6268
受付時間　：10:00～12:00、13:00～18:00　月～金（祝・祭日を除く）
必要事項　：ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。
●製品名
●シリアル番号 （S/N)、リビジョンコード (Rev.)
●お名前、フリガナ
●連絡先電話番号、FAX 番号
●購入店
●購入日付
●お使いのパソコンの機種
● OS
●お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
●ネットワーク構成

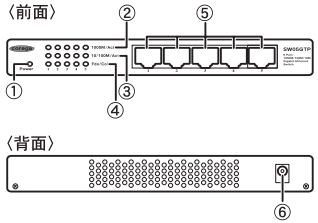
弊社ホームページのご案内

弊社のホームページでは、各種商品の最新情報や、製品についてのよくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

コレガホームページ　http://www.corega.co.jp

Copyright ©2003 株式会社コレガ
coregaは、株式会社コレガの商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。
2004年1月　Rev.A　初版　　2004年1月　Rev.B　第二版

各部の名称と機能



①Power LED(緑)
本体に電源が供給されているときに点灯します。
②1000M Link/Act LED(緑)
1000Mbpsで接続されているとき、緑色に点灯します。(通信中は点滅)
③10/100M Link/Act LED(橙/緑)
100Mbpsで接続されているとき、緑色に点灯します。(通信中は点滅)
10Mbpsで接続されているとき、橙色に点灯します。(通信中は点滅)

メモ **1000Mbps/100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能により、本製品が自動で行うため、設定の必要はありません。**

④Fdx/Col(橙)
ポートがFull duplexで作動しているときに点灯します。消灯しているときはHalf duplexで作動していることを示しています。(コリジョン〈データの衝突〉が発生しているときは点滅)
⑤1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tネットワークポート(AUTO MDI/MDI-X)
LANケーブルを接続するためのコネクターです。

メモ **自動設定機能により、接続先のポートの種類、通信速度(1000Mbps/100Mbps/10Mbps)、ケーブルタイプ(クロス/ストレート)に関係なく、自動的に接続するため、設定の必要はありません。**

⑥DCジャック
ACアダプターのDCプラグを接続するためのコネクターです。

使用方法

●設置場所

注意 **設置場所については、本書の「安全のために」をよく読んで、正しい場所に設置してください。**

・デスク上などに設置する場合は、本体の底面4箇所(○マークの位置)に、必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収させることができます。

メモ **ゴム足の粘着シールは、一度はがすと粘着力が弱くなりますので、ご注意ください。**

●電源

・本製品は、日本国内で使用してください。
・同梱のACアダプターを使い、AC100Vの電源に接続してください。

注意 **指定された電源、電圧以外(製品仕様「電源部」参照)で使用しないでください。不適切なACアダプターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。**

●接続方法

メモ **接続する前に、以下のことを確認してください。**
・全ケーブルが機器同を接続するのに適切な長さか。本製品とパソコンを接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。
※1000BASE-T/100BASE-TXの場合は、エンハンスド・カテゴリー(以下「カテゴリー」)5以上のLANケーブル、10BASE-Tの場合は、カテゴリー3以上のLANケーブルを推奨します。
※コレガ社製のケーブルをご使用されることをおすすめします。
・接続先機器の通信モードが、IEEE802.3規格のオートネゴシエーション機能をサポートしているか。サポートしているときはFull duplex、サポートしていないときはHalf duplexに設定してください。

①本体前面のネットワークポートにLANケーブルを接続します。

②ネットワークに接続するパソコンに、LANアダプターが正しく取り付けられていることを確認して、LANケーブルのもう1方をパソコンのLANアダプターに接続します。

③ACアダプターのDCプラグを、本体背面のDCジャックに接続します。

④ACアダプターを、電源コンセントに差し込みます。

⑤本体前面のPower LED(緑)が点灯することを確認します。正しく接続されているときは、接続したポートのLink/Act LED(緑/橙)が点灯します。

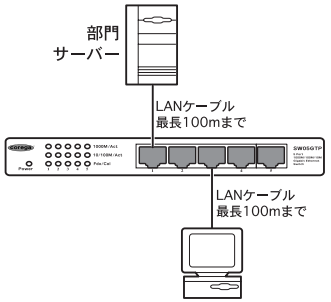
●起動と停止

・起動するときは、ACアダプターを電源コンセントに差し込みます。
・停止させるときは、ACアダプターを電源コンセントから抜きます。

注意 **・本製品には電源スイッチはありません。ACアダプターを電源コンセントに差し込んだ時点で電源が入りますので、注意してください。**
・ACアダプターを電源コンセントに差し込んだままDCジャックを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

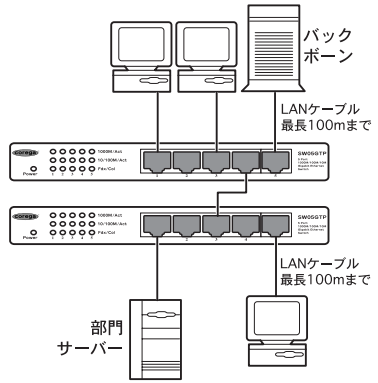
●スタンドアローン環境

・本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。



●カスケード接続

・本製品はすべてのポートでMDI/MDI-X自動設定機能を搭載していますので、ケーブルタイプや接続する機器のポートに関係なく、簡単にカスケード接続することができます。
・本製品はリピーターやハブとは異なり、スイッチのカスケード接続はコリジョンドメインを分割するので、カスケード接続できる数に理論上の制限がありません。そのため、本製品をカスケードの用途に合わせ、何段でも拡張することができます。



メモ **カスケードの段数は、ネットワーク上で作動しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。**

①本製品の任意のポートにLANケーブルを接続します。

②LANケーブルのもう1方の端を、接続機器のネットワークポートに接続します。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思う前に、以下のことを確認してください。

点検事項		確認事項		解決事項
Power LEDは点灯しているか	点灯していない	・電源ケーブルが切れていないか ・ACアダプターのDCプラグが正しく差し込まれているか ・正しい電圧のコンセントを使用しているか	→	・修理を依頼する ・ACアダプターのDCプラグを正しく差し込む ・付属のACアダプターを使用する
↓ 点灯している				
接続したネットワークポートのLink/Act LEDは点灯しているか	点灯していない	・接続先の機器に電源が入っているか ・LANアダプターに正しくLANケーブルが接続されているか ・LANケーブルが切れていないか ・LANケーブルの長さが100mを超えていないか	→	・電源を入れる ・正しくLANケーブルを接続し直す ・LANケーブルを交換する ・LANケーブルの長さを100m以内にする
↓ 点灯している				
接続先の機器を点検	点検する	・接続先の機能がオートネゴシエーション機能をサポートしているか ・パソコンのLANアダプターが通信可能な状態であるか	→	・LANカードの通信速度を「Half duplex」に変える ・パソコンメーカーにお問い合わせください。

それでもダメなら…

・使用しているネットワークポートが故障している可能性もあります。別のネットワークポートに差し換えて、正常に作動するか確認してください。
・LANケーブルの目に見えない部分に問題がある可能性もあります。他のLANケーブルに交換して試してください。
・リピーター(ハブ)の数が制限を超えていないか、確認してください。
ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスⅡのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。

メモ **・リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。**
・クラスⅠのリピーターはカスケード接続することができません。
・イーサネット(100Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は最大4台までとされています。

上記の事項を確認しても動作しない場合は、本書の「製品に関するご質問」に記載されているコレガサポートセンターにお問い合わせください。

corega®